

コントミン注持続投与時には遮光を

コントミン筋注 10mg（当院では、点滴静注可としています）は、経時的に着色し、効果が少なくなっていくます。着色した物質は、コントミンの成分である、クロルプロマジン塩酸塩が変化したものです。

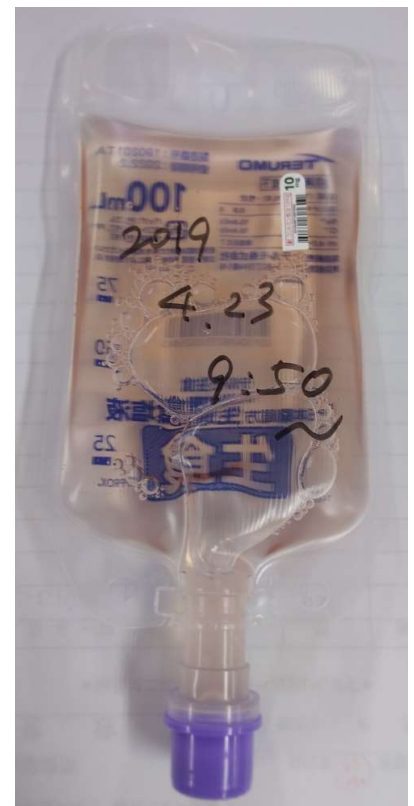
コントミン筋注を持続投与する機会は少ないと考えますが、その際には、遮光をしてください。

生理食塩水 100ml+コントミン筋注 10mg1A 混合後、室内散光下に置いてみました

生理食塩水単独

コントミン1A 混合 光暴露 1時間後

光暴露 24時間後



コントミン筋注 25mg（保存条件：25～32℃・室内散乱光下）

薬剤名*	単位 / 用量	外観	pH	配合比	外観					pH					備考		
					配合直後	0.5h後	1h後	3h後	6h後	24h後	配合直後	0.5h後	1h後	3h後		6h後	24h後
25mg コントミン注	25mg / 5mL	無色 澄明 の液	5.65	単味	無色 澄明 の液	同左	同左	同左	微々黄 色澄明 の液	微黄色 澄明の 液	5.65	5.66	5.67	5.57	5.38	4.60	

上記は、コントミン筋注25mg（インタビューフォームより）の記載になりますが、室内散乱光下で、6時間後には、色が微々黄色になり、24時間後には、微黄色になるとされています。

表解「注射薬の配合変化」(じほう)の記載にも、「塩酸クロルプロマジンの水溶液は、温度には安定であるが、光によって徐々に着色する」と記載されています。

より安全な医療をみんなで行っていきましょう!!